

# 「清須市民げんき大学」

## 介護予防を学ぶ 高齢者ら入学式

清須げんき大学

介護予防の知識を学び、寝たきりにならない体力作りも目指す「清須市民げんき大学」の入学式が1日、清須市一場の愛知医療学院短期大学で行われた。

リハビリの専門家養成に特化した3年制の同短大と、同市の官学連携で今年初めて開講した。募集に応じた62〜80歳の市民30人が式に臨んだ。

式では、げんき大学の学長でもある舟橋啓臣同短大学長が「定年退職や子供の独立などで目標を失うと、脳の働きも弱まります。新たな目標を見つけ、元気な高齢期を過ごすため、休まず仲良く学んでください」と式辞を述べた。来賓の市高齢福祉課の森川治美課長は「1年間で体力を付け、

知識も身につけ卒業したら、地域のリーダーとして活躍していただきたい」とあいさつした。

1年間の講義は計10日あり、広く介護予防の知識を学ぶ座学と、寝たきりにならないよう体力を付ける運動の2講座から成る。ボランティア活動の実習もある。9月と11月には公開講座も開かれます」と宣誓した。

【長倉正知】



入学式で「全員そろって卒業します」と宣誓する奥山留美さんら「げんき大」新入生—清須市一場の愛知医療学院短大で